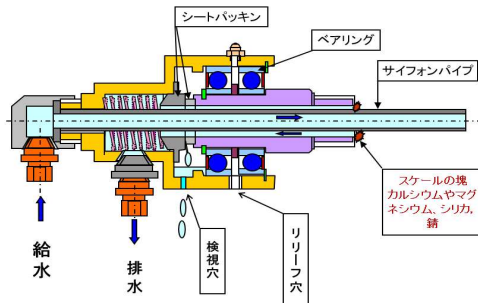


## 第37回 インキ振りローラー冷却水の管理

インキ振りローラー冷却水循環装置:冷却水管理に関する注意事項

### I. 印刷機用インキ振りローラー冷却水について



ロータリージョイントの詰まり(図1)

冷却水循環装置の水には水道水をお使いください。水道水が手配できない様な場合は、水質に十分に注意してください。水質によっては、スケールの付着による熱交換率の低下や機器の腐食(錆)等の原因となります(図1)。水質の悪い地域で水冷式をご使用の場合は、**2ヶ月に1度程度**クーリングタワー(冷凍機の冷却水を冷却する装置)の洗浄を行ってください。水質基準の詳細については、オプションの`冷却水循環装置`の取扱説明書をご参照ください

※スケール:カルシウムやマグネシウム、シリカなどの事を言います。

### II. 印刷機用インキ振りローラー冷却水のpH数値管理について



クリレックス MP-803 参考写真(図2)

インキ振りローラー冷却水のpH管理の実施をお願いいたします。機械納入時に、冷却水の良い状態を弊社側でpH測定器で測定します。その状態の数値をお客様へお知らせいたします。

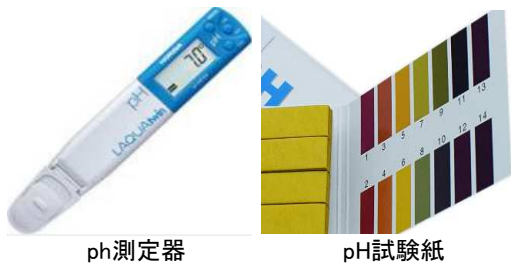
お客様の方では、その水質のキープをお願いいたします。お客様の方で、インキ振りローラー冷却水を生成する際は、防錆剤を投入後に、pH値を測定してください。機械納入時と同じ状態に合わせてください。

(重要ポイント)

- 1、水質として**8.5以上~11.0以下**:弱アルカリ性で生成。
- 2、冷却水循環装置への補給水(上水)の水質調査を実施してください。通常の上水のpH値は、平均pH7.5でおおむね中性です。(H29年度東京都水道局調べ)

インキ振りローラー冷却水に入れる推奨防錆剤:クリレックス MP-803

### III. 印刷機用インキ振りローラー冷却水のメンテナンスについて



pH測定器

pH試験紙

インターネットより参考資料(図3)

ローラー冷却水のpH管理は日々のチェックが大切です。

- 1、冷却水循環装置タンク内の水の状態確認は**1週間/1回**確認。これは、日々の機械のメンテナンス同様をお願いいたします。
- 2、冷却水循環装置タンク内の水の状態確認を**1週間/1回**でpH測定器等で数値を確認/管理。タンク及び水抜きより計量カップ等で水を汲み上げてpH測定をしてください。結果のpH値が**8.5以下**の場合は防錆剤の追加投入をし、再度測定器でpH値を確認してください。
- 3、冷却水循環装置タンク内の冷却水は定期的な入れ替え/交換を実施してください。冷却水循環装置内のタンク内の冷却水は、**半年に1回の入替/交換**を推奨します。また、タンク内の清掃も実施してください。定期的な機械メンテナンス同様をお願いいたします。

定期的な設備メンテナンスを実施して頂き、印刷機械の機能性能および、寿命を維持するために、上記の3項目のメンテナンスをお願いいたします。上記3項目の確認を怠ると、インキ振りローラーの腐食(錆び)が発生し冷却水の汚れへ繋がり、冷却機能が低下してきます。また、機械の稼働にも影響が出てきます。**通水路がスケール/錆などで詰まり、スケール/錆などが除去出来ない時は、ローラーASSYの交換となる事があります。**

※詳細または不明な点がございましたら、下記までお問合せをお願いします。

株式会社小森コーポレーション  
サービス技術本部

東京:本社 03-3624-7166  
部品販売 03-3624-7154  
関宿 04-7196-5166

北海道 011-641-1505  
東北 022-282-8871  
北陸 076-422-5588  
名古屋 052-363-5011

大 阪 06-6939-0141  
九 州 092-433-7615  
中 国 082-295-9100  
四 国 087-864-3902